

1. トナー技術部会（第三部会委員）＜10 名：退任 4 名、新任 2 名＞

多田達也（主査）、大喜多正希（京セラ DS：副主査）、須釜宏二（コニカミナコ：副主査）、田中孝幸（キヤノン：副主査）、小枝麻衣子（イトリア）、笹辺修司（リコー）、中村幸晃（富士フイルム BI）、原田大輔（ホソカワミクロン）、秋葉大（パナソニック：新任）、近藤秀昭（花王：新任）、上原利夫（ティーツー：2024.3 退任）、大柴知美（コニカミナコ：2024.3 退任）、佐久田綾（パナソニック：2024.9 退任）、日高安啓（花王：2024.3 退任）

2. 2024 年度活動状況

【年初に定めた活動案】

現像剤に関する測定の標準化検討（第三部会）のミッションが終了し、また当初から関わっていた委員も退任して新委員体制となってきたことから、2024 年度は新ミッション策定の探索活動に注力する。

【年初に定めた活動目標項目】

- ① トナー帯電量測定に用いる標準キャリアの頒布の継続
- ② 新ミッション策定のためのトナー関連技術探索活動の継続

【活動計画】

- ・定例部会（見学会も含む）：隔月（原則、奇数月第二金曜日）で開催
- ・研究会に関しては、テーマ設定や開催形式等も含めて再考し（今さら聞けない「トナー技術」というようなテーマで、イメージングカフェ的な形式も検討）、開催可能かどうかを検討していく。

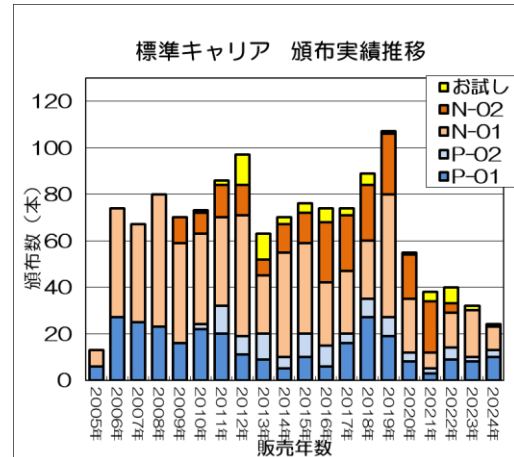
【活動状況の概要】

- ・定例部会は6回（オンライン：2,3,5月、対面+オンライン：7,9,11月）開催した。
- ・大学・研究機関・企業等の見学会は、1回（11月：ホソカワミクロン技術開発センター）行った。
- ・研究会は、2025年4-5月に開催することを決定した。研究会のテーマは「トナーの環境規制と環境配慮技術動向」とし、トナーに関わる環境規制動向や環境配慮技術動向に関する講演を集めた研究会を企画した。

＜活動目標項目についての活動内容＞

- ① トナー帯電量測定に用いる標準キャリアの頒布の継続
 - ・標準キャリアの頒布状況は、コロナ禍対応のテレワーク化の影響からコロナ禍発生後減衰が続き、2022 年に一旦下げ止まったものの、今年度は昨年度に続き減衰となった。
 - ・標準キャリアの販促活動として、2024 年 11 月の POWTEX2024 第 25 回国際粉体工業展東京でのホソカワミクロン様の出展エリアにて、標準キャリアの広告および実物を展示させていただいた。
 - ・頒布している標準キャリアの帯電能の確認のために、今年度も2つの検定トナー（N-01T、P-01T）に対する4 種の標準キャリア全ての帯電能測定を行った。

販売年数	頒布個数（本）					合計	1-ダ-数
	P-01	P-02	N-01	N-02	お試し		
2005年	6	0	7	0	0	13	6
2006年	27	0	47	0	0	74	39
2007年	25	0	42	0	0	67	35
2008年	23	0	57	0	0	80	36
2009年	16	0	43	11	0	70	25
2010年	22	2	39	9	1	73	30
2011年	20	12	38	14	2	86	26
2012年	11	8	52	13	13	97	44
2013年	9	11	25	7	11	63	27
2014年	5	5	45	12	3	70	25
2015年	10	10	39	13	4	76	26
2016年	6	9	27	26	6	74	34
2017年	16	4	27	24	3	74	23
2018年	27	8	25	24	5	89	31
2019年	19	8	53	26	1	107	35
2020年	8	4	23	19	1	55	25
2021年	3	2	7	22	4	38	15
2022年	9	5	15	4	7	40	12
2023年	8	2	20	0	2	32	10
2024年	10	3	10	1	0	24	9
合計	280	93	641	225	63	1302	513



② 新ミッション策定のためのトナー関連技術探索活動の継続

- ・トナー関連技術探索活動として、技術研究会の開催に向けて、トナー関連技術者の関心が高い領域について情報収集を行い、「トナーの環境規制と環境配慮技術」をテーマとした技術研究会を企画した。各委員が環境に関連する技術や大学・研究機関・企業等の情報収集を行い、プログラムを作成した。
- ・新ミッション策定に向けて、今後どのような活動を行っていくか定例会で議論した。その結果、「今後のトナーはどうなるのか？」をテーマとして、技術軸や価値軸を設定して調査を行うことにした。どこに軸設定するかについては継続検討する。

3. 2025 年度活動案

2025 年度は、2024年度の活動を継続し新ミッション策定に注力する。

[活動目標項目]

- ① トナー帯電量測定に用いる標準キャリアの頒布の継続
- ② トナー関連技術の深耕につながる技術研究会の開催（4-5月）と、次回の企画

[活動計画]

- ・定例会（見学会も含む）：隔月（原則、奇数月第二金曜日）で開催
- ・技術研究会を開催（4-5月）するとともに、次回のテーマ設定や開催方式について検討していく。